



レース・フォー・ウォーターが世界の海を調査、プラスチック海洋汚染をストップしよう！

<https://www.raceforwater.org/ja/>

R4W 号のプラスチック海洋汚染の調査結果、実態は衝撃的！

マルコ・シメオーニは、スイスのローザンヌ地方で育ち、工学を学び、IT コンサルティング会社 3 大企業の 1 つの Veltigroup を設立しました。2010 年、シメオーニは海洋への情熱、エンジニアと起業家としての専門知識を活用して、レース・フォー・ウォーター財団を設立しました。

この財団は、元々はヨット・レースのために設立されたものですが、2015 年に世界一周レースのために建造したトリマラン (※) で世界一周セーリングを行ったとき、海洋ゴミ汚染や海洋プラスチックごみの実態を目撃しました。

このとき、5 つの海流の渦の中にプラスチックゴミが貯まっていることが分かり、このプラスチックゴミの渦の中にある島々のビーチにも立ち寄りました。そして、世界中のビーチや海にプラスチック廃棄物があり、すべての海流が既に“マイクロプラスチックのスープ”になっている現実を認識しました。

2016 年にシメオーニは、プラスチックの島はなく、既にあるプラスチックを取り除くより、廃棄物が海に流されるのを防ぐことが先決であり、プラスチック汚染から海洋を保護するための解決策を検討しました。そして、現実的で効果的な方法を見いだしました。それを実証するために、2017 年 4 月 9 日から Race for Water Odyssey 2017-2021 が計画され、日本にもレース・フォー・ウォーター号がやって来ました。各港では、子供達や市民にも環境問題を提起し、その解決策を学ぶ機会を提供します。

※ 3 艘の船を並行に連結した船のこと。双胴船（カタマラン）に、さらに 1 艘の船を連結したものである。三胴船の中央の船は「主船体」、左右の船は「副船体（サイドハル）」とよばれる。

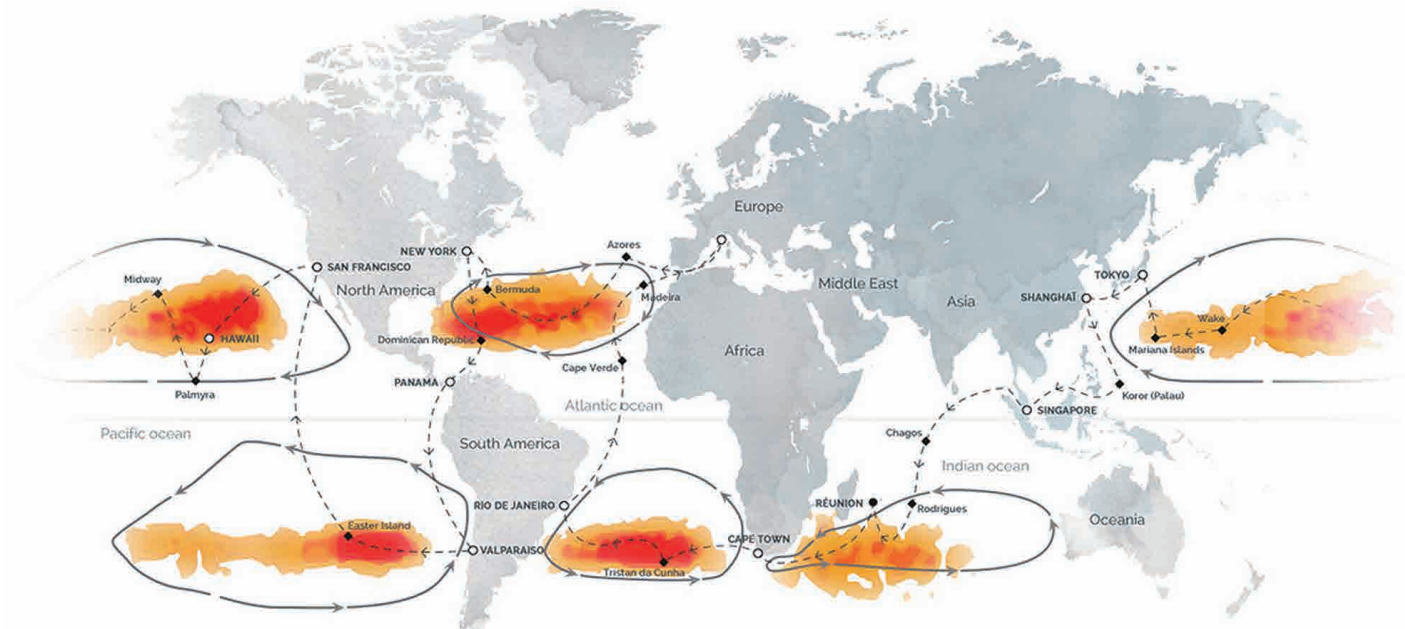


海中に漂うプラスチックゴミ



浜辺に打ち寄せられたプラスチックゴミ

Race for Water Odyssey 2015 のフランスを起点の世界 1 周航路と海流の渦に集まるプラスチックゴミ



50 年間の使い捨てプラスチックが地球に蓄積、 みんなで解決策を考えましょう！

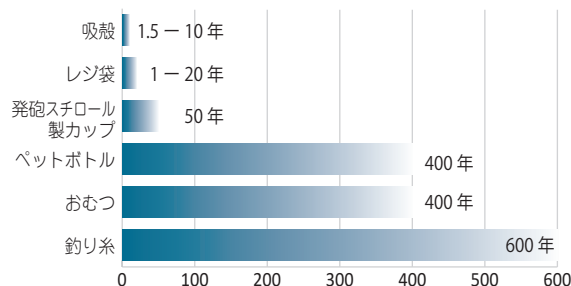
- ・海洋プラスチックの実態の調査と対応
- ・3R (リデュース・リユース・リサイクル) の推進
- ・新素材の開発

プラスチックは 19 世紀に発明されましたが、第二次世界大戦中に重金属が軍事利用で不足したことから、生活用品は次第にプラスチック製に変えられて行きました。戦後は軽く安く丈夫で、使い捨てできる便利さから、私たちの生活のあらゆる場面で利用されています。しかし、その軽さ、便利さ、丈夫さ故に大量に生産・消費されました。適切に廃棄されなかったプラスチックが、大量に環境中に残りました。この約 50 年間に、最終的に海に流され、大量に海流の中を漂流しています。

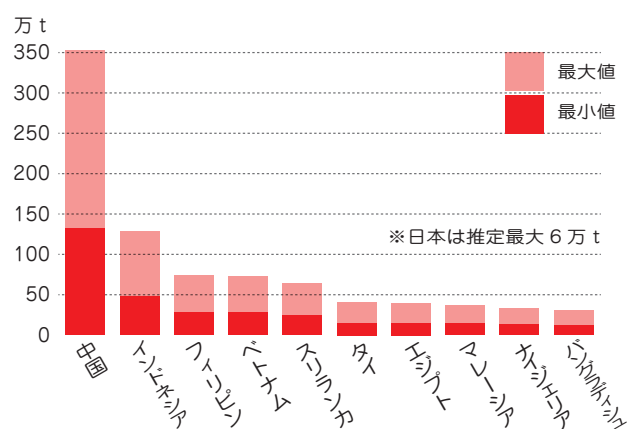
海洋に漂う廃プラスチックは、水に溶けることもなく、微生物に分解されることもなく、太陽からの紫外線を浴び、波にもまれて、小さな粒子 (マイクロプラスチック) に砕かれて行きますが、数百年間海を漂い、砂浜にも打ち上げられています。右グラフのようにペットボトルは完全になくなるまでに 400 年かかります。ポリ塩化ビニル (PVC) は海底に沈み、分解されず生態系に悪影響を及ぼします。

2016 年月に開催された “World Economic Forum”、通称ダボス会議でショッキングなデータが公開されました。それは、2014 年時点では海の魚の総重量の 5 分の 1 が海洋に漂うプラスチックの総重量と同じであり、何も対策を講じなければ、2050 年には海洋プラスチックの総重量は 5 倍になり、2014 年時点の魚の総重量より多くなるという事実です。現時点でも海洋の魚の総量は、著しく減少しているので、恐らくはプラスチックの方が総重量でかなり多くなっているだろうと予想できます。製造量は 2050 年には、2014 年時点の 3 倍になるとの予想です。使われる化石燃料のプラスチック製造の比率は、2014 年時点では 6% ですが、2050 年には 20% になるとも予想されています。

これ以上海に流れ出るプラスチックを増やさないために、まず人々に海洋プラスチック汚染の現状を知ってもらい、分別を徹底し、3R を加速させることが重要です。



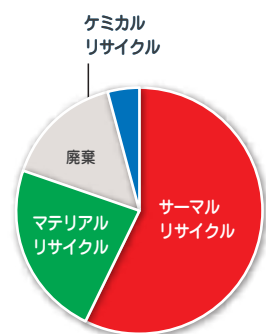
海洋ゴミが完全に分解されるまでに要する年数
(資料:WWF ジャパン、海洋プラスチック問題について)



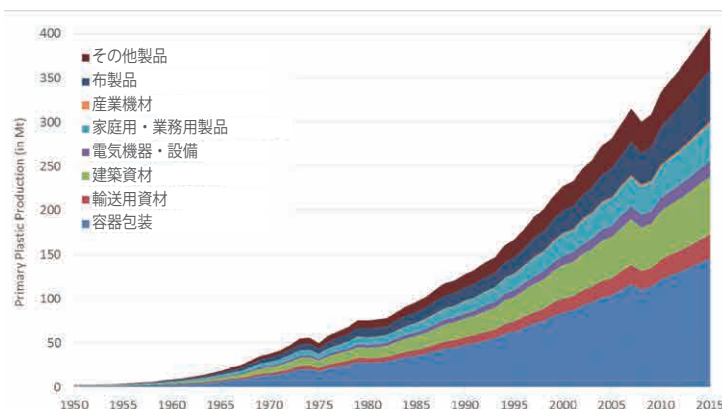
陸上から海洋に流出したプラスチックゴミ発生量 2010 年推計上位 10 ヶ国
(資料:plastic waste inputs from land into the ocean, 2015Feb. Science)

2050 年のプラスチックの増加量の予想

	2014 年	2050 年
プラスチックの製造量	31,100 万 t	112,400 万 t
総重量の比率 プラスチック : 魚	1:5	>1:1
プラスチック製造に使用する石油量	6%	20%
プラスチック製造の石油金額比率	1%	15%



廃プラスチック処理状況
(資料:一般社団法人プラスチック循環利用協会)



世界のプラスチック生産量: 1950 to 2015
(資料:OECD, Improving Plastics Management:Trends, policy responses, and the role of international co-operation and trade, OECD ENVIRONMENT POLICY PAPER NO. 12)



マルコ・シメオーニ、グンター・パウリ共著の “the plastic solutions” の日本語翻訳版は日経 BP から出版された。

レース・フォー・ウォーター寄港地 (新型コロナ対策で予定変更する場合がございます。)

レース・フォー・ウォーターは、福岡、岡山、大阪、東京の港で環境教育や交流会、シンポジウムなど実施します。

レース・フォー・ウォーター号は 2017 年 4 月 2 日、晴天のもとフランスにある母港のロリアンを離れ、バミューダ海域に向かいました。パナマ運河を通り、南アメリカを南下し、ポリネシアとミクロネシアからアジアを北上し日本に向かっていきます。2 月 25 日に石垣島に入港し、日本各地の計 15 港に停泊します。その後は、インド洋と大西洋を通して 2021 年 10 月にロリアンに帰還し、5 年の航海を終える予定です。

航海途中ではそれぞれの海域のプラスチック汚染の実態のデータを収集し、海洋生物調査が科学者によって実施されます。また、各停泊地では、子供たちへの環境教育を目的にしたイベントや市民との交流、シンポジウムなどを開催します。



ロリアン港からレース・フォー・ウォーターが出港、2017 年 4 月 2 日



カリブ諸島での教室 2018 年 1 月 16 日



沖縄永良部島に入港、2020 年 2 月

航行スケジュール (7月27日時点、日程・港は変更となる場合がございます。)

日 程	停泊地		日 程	停泊地	
2/25-29	石垣島 (石垣港)	沖 縄	8/8-17	岡山 (児島港)	岡 山
3/4-5/14	沖永良部島 (知名港)	鹿児島	8/18-20	神戸 (ポートアイランド公園)	兵 庫
5/15-5/19	奄美大島 (古仁屋港)	鹿児島	8/20-31	大阪 (中之島ゲートパーク)	大 阪
5/21-7/20	鹿児島 (谷山港)	鹿児島	9/4-9/7	豊橋 (青海客船ターミナル)	愛 知
7/22-28	佐世保 (佐世保港)	長 崎	9/10-9/12	横浜 (横浜ベイサイドマリーナ)	神奈川
7/30-8/5	福岡 (宗像市大島港)	福 岡	9/19-9/28	東京 (天王洲アイル)	東 京

Climate Emergency Network 設立に向けて

気候非常事態宣言とカーボンニュートラル社会づくり支援ネットワーク

今後益々深刻化する気候危機に直面している今、30 の国家と 1,700 を超える自治体が、気候非常事態を宣言し、カーボン・ニュートラルを目指しています。

2020 年 6 月、30 の国家と 1,700 を超える自治体、が気候非常事態宣言を表明しています。6 月 5 日には韓国の 226 すべての自治体が気候非常事態宣言を一斉表明を実施しました。わが国では、2019 年 9 月に香取市の宣言に続き、32 の自治体がこれに続いて宣言し、101 の自治体が 2050 年 CO2 実質ゼロを表明している。

世界は非常事態宣言からさらに具体的なステップに踏み出し、カーボン・ニュートラルの具体的な行動計画へと進み、イギリスの気候非常事態宣言をした自治体のうち、160 以上が 2030 カーボンニュートラル目標を掲げていて、50 の自治体が既にアクションプランを公表しています。

2021 年 11 月のイギリス、グラスゴーでの COP26 を目指して今後は、気候非常事態宣言と行動計画づくりが加速されることと予想できます。このような中で、気候非常事態宣言とカーボンニュートラル社会へ包括的で公正な転換を支援する自由で開かれたネットワークの設立を提案いたします。

活動内容

1. 既に宣言した自治体、これから宣言しようとする自治体、2050 年ネット・ゼロエミッションを目指す自治体、青少年、市民、専門家、企業、行政棟が自由に交流できるプラットフォームをつくる。
2. 学士会館で月例の気候変動非常事態宣言を開催するほか、様々な交流会を開催する。
3. カーボン・ニュートラルに資する製品・サービス・ソリューションの普及を行う。
4. ニュースレターを発行する。
5. 国内外の先進的取り組みのデータベースを公開する。
6. その他

2020 年 9 月より、気候非常事態宣言とカーボンニュートラル社会づくり支援ネットワーク事務局は、特定非営利活動法人ゼリ・ジャパンが事務局を兼任いたします。

〒140-0002

東京都品川区東品川 1-25-8

HP www.zeri.jp/

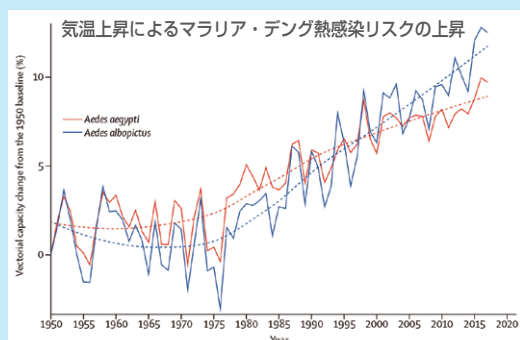
E メール info@zeri.jp



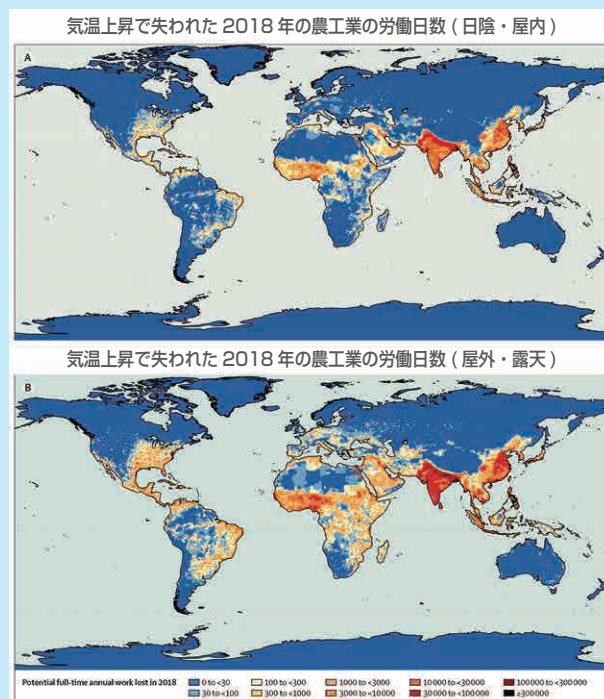
子供の未来に赤信号 (2019 年版 ランセット 健康と気候変動カウントダウン報告)

2019 年 11 月 28 日、世界的医学誌ランセット (英) と WHO など世界 35 の研究機関の共同プロジェクト "Lancet Countdown on Health and Climate Change: ensuring that the health of a child born today is not defined by a changing climate" 2019 年度報告書が公表されました。

パリ協定の目標を達成しなければ、人々の健康に深刻なインパクトを与えると警告しています。気温上昇による感染症の増加や農作物収穫量の減少、大気汚染などが、特に子どもに大きな悪影響を及ぼすとの調査結果を報告しています。



ネッタイシマカ蚊 (赤) とヒトスジシマカ蚊 (青) のマラリア・デング熱媒介能 (%) の推移



2018 年の図 A (日陰)、図 B (日向) での農作業と製造作業で失われる年間の 1 日当の労働量の延べ日数

地球温暖化防止、異常気象対策、パリ協定の目標達成のために

気候非常事態宣言する自治体や団体を増やそう！
再生可能エネルギーを活用し、カーボンニュートラル社会をめざそう！
企業のイノベーションと CEN への参画をすすめよう！

気候非常事態宣言とカーボンニュートラル社会づくり支援ネットワーク
(Climate Emergency Network 略称:CEN、気候非常事態ネットワーク)
日本の事務局を ZERI ジャパンが務めさせていただきます。



特定非営利活動法人 ゼリ・ジャパン
〒140-0002
東京都品川区東品川 1-25-8
www.zeri.jp/ info@zeri.jp

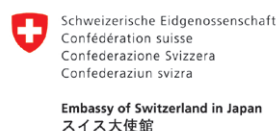
グローバル・スポンサー



代表スポンサー (日本)



スポンサーと後援団体



特定非営利活動法人 ゼリ・ジャパン
〒140-0002
東京都品川区東品川 1-25-8
www.zeri.jp/ info@zeri.jp



Race for Water Foundation
Avenue de Provence 4
1007 Lausanne, Switzerland
info@raceforwater.org